

主な新型コロナウイルス感染症対策関連質疑について

◎柴田議員

・北海道から出された臨時休校・分散登校などの教育関連情報の発信と伝達について

【答弁】 昨日全道の教育長を対象にテレビ会議が行われ、主に分散登校日について意見交換されました。趣旨は理解するものの、学校の規模、時期などが異なることや、併せて儀式についても情報が遅いとの意見が出されていました。道としても今後最善の努力により、一刻でも早く通知するとの回答を得たところです。市としてもさまざまな対策を考えつつ、迅速な対応に努めていきます。

・中学生の外出制限について

【答弁】 不要不急の外出を控え、人混みを避けるよう指導しています。どうしても外出する際は、マスクの着用、時間をずらすなどの対応をしていただきとを考えています。

◎三上議員

・北海道知事の「非常事態宣言」を受けて地域産業への影響について

【答弁】 国による対策が見えていな

い状況であるため、まずは情報収集に努め、事業者に対し何を早期に優先すべきか判断をしていきたいと考えています。

・学童クラブによる使用で、ほかの団体がコミュニティセンターを使用できない現状について

【答弁】 コミュニティセンターを閉鎖していることで、学童保育ではほかのスペースも使用することができています。当面3月末までとしていますが、早期の再開を目指していきたいと考えています。

◎安樂議員

・市職員への感染予防の周知徹底および市職員が感染した場合の対応について

【答弁】 職員に対しては、健康管理に努め、イベント参加の自粛、マスクの着用や手洗いの徹底などを呼びかけたほか、執務室の清掃消毒の協力をお願いしています。また、所管する事務分掌などを参考に優先業務の選定、対応手順などについてあらかじめ準備するよう指示しています。

◎山口議員

・飲食店などお店を潰さないためには資金が必要であり、スピード感を持った対策の考えについて

【答弁】 相談窓口を設け、現状の把握に努めています。市独自の融資制度とセーフティネット保証を同時に使えることも分かりました。今後は、既存の制度を駆使して対応していきます。

◎寄谷議員

・家庭訪問などによる子どもたちの状況把握について

【答弁】 分散登校により子どもたちの健康状態の把握を行っています。家庭訪問については、できるだけ避けるようにとの北海道の通知もあることから、必要なものは自宅の郵便受けに投函するなどして対応しています。

◎本間議員

・融資などの相談状況および飲食店などに対する細やかな周知方法について

【答弁】 制度の周知は行っていますが、提供される情報も日々刻々と内容が変遷してきています。報道の後に周知文が届くこともありませんが、事業者への周知は今後も努

力を続けていく考えです。

◎渡邊議員

・各種申請や、異動時期を迎える市民課などの窓口対応について

【答弁】 国から申請時期延長の指示を受けているほか、待合のいすの間隔をあけて配置するなどの対応をしています。転入転出の届け出についても、マイナンバーで対応できることをお伝えしています。

◎荒木議員

・イベントなどの延期について

【答弁】 タイミングを誤って感染拡大につながらないよう、国や北海道の判断も見極めて対応していきます。

◎佐々木議員

・医療崩壊につながるため今後の対応について

【答弁】 患者の集中による医療崩壊を回避するためには、近郊の公立病院などで軽度の患者を受け入れる必要があり、具体的な方策の検討が求められています。また、一般の患者さんに安心して診療を受けてもらうため、発熱がある方は総合受付に申し出てもらい、一般の方とは別の救急の動線で診療を行っています。